

職域健康診断における有所見率状況調査結果（2024 年度）

東京都産業保健健康診断機関連絡協議会

会 長 柳 澤 信 夫

（一財）全日本労働福祉協会 長 濱 さつ絵

都産健協広報部会長 廣 瀬 篤 史

I はじめに

東京都産業保健健康診断機関連絡協議会（都産健協）の事業部会では、事業場が推進する健康管理の参考データとして産業保健関係者に提供することを目的に、会員機関が実施した職域における健康診断データを収集し、性・年齢別、企業規模別及び業種別の有所見率を集計した。

II 方 法

1. 解析対象とした健康診断の実施機関

2025 年 7 月、都産健協に加入する 38 機関へ調査票を配布し、11 月末をめぐに調査票を回収した。性年齢別有所見率調査（調査票 1）は 14 機関、企業規模別性年齢別有所見率調査（調査票 2）は 3 機関、業種別性年齢別有所見率調査（調査票 3）は 4 機関から回答があった。

2. 有所見の判定

各検査項目の有所見の判定は、各健診機関の医師がそれぞれ策定した判定基準を使用したもので、統一されたものではない。

3. 定期健康診断の実施期間

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの 1 年間に実施された健康診断について集計した。

表-1 性年齢別有所見率調査対象者の年齢構成（2024 年度）

年齢 性別	男性		女性	
	人数	%	人数	%
-19	23,798	1.5	24,680	2.5
20-24	113,008	7.0	98,077	10.0
25-29	178,491	11.0	126,132	12.8
30-34	169,900	10.5	106,141	10.8
35-39	157,792	9.7	91,803	9.3
40-44	168,892	10.4	96,170	9.8
45-49	181,869	11.2	104,588	10.6
50-54	206,303	12.7	114,626	11.6
55-59	187,976	11.6	96,221	9.8
60-64	133,582	8.2	67,384	6.8
65-	100,369	6.2	59,328	6.0

III 結 果

1. 解析対象

・性年齢別有所見率調査（表-1）

男性 1,621,980 人

女性 985,150 人

合計 2,607,130 人

男性は 50-54 歳が最も多く、次に 55-59 歳、そして 45-49 歳の順であった。

女性は 25-29 歳が最も多く、次は 50-54 歳、そして 30-34 歳の順であった。

・企業規模別生年齢別有所見率調査

50 人未満 50 人以上

男性 99,633 人 195,399 人

女性 42,948 人 119,061 人

合計 457,041 人

・業種別性年齢別有所見率調査（表-2）

業種別は、日本標準産業分類（大分類）を用い、20 業種の区分に分けて集計を行った。

受診者数の多い業種は、製造業（男性 127,193 人、女性 37,782 人）、運輸業・郵便業（男性 40,719 人、女性 19,181 人）、卸売業小売業（男性 22,136 人、女性 22,362 人）、教育、学習支援業（男性 13,192 人、女性 19,721 人）、建設業（男性 26,775 人、女性 6,062 人）だった。受診者数が少ない農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業はまとめて解析した。

表-2 業種別性年齢別有所見率調査対象者の年齢構成（2024 年度）

業種	男性	女性	合計
農業、林業	2,460	899	3,359
漁業	19	21	40
鉱業、採石業、砂利採取業	1,147	199	1,346
建設業	26,775	6,062	32,837
製造業	127,193	37,782	164,975
電気ガス熱供給水道業	1,662	369	2,031
情報通信業	3,102	1,644	4,746
運輸業、郵便業	40,719	19,181	59,900
卸売業小売業	22,136	22,362	44,498
金融業保険業	2,572	4,316	6,888
不動産業、物品賃貸業	1,354	1,049	2,403
学術研究、専門技術サービス業	5,351	1,681	7,032
宿泊業、飲食サービス業	3,450	4,077	7,527
生活関連サービス業、娯楽業	3,121	2,454	5,575
教育、学習支援業	13,192	19,721	32,913
医療、福祉	9,157	14,325	23,482
複合サービス業	2,160	1,275	3,435
サービス業（他に分類されないもの）	13,026	5,238	18,264
公務（他に分類されないものを除く）	3,838	1,497	5,335
分類不能の産業	3,529	5,669	9,198

2. 性項目別の有所見率（図-1）

総有所見率は男性 49.2%、女性 44.5%と男性、女性ともに前年度より下降した。

男性で有所見率が高かったのは、

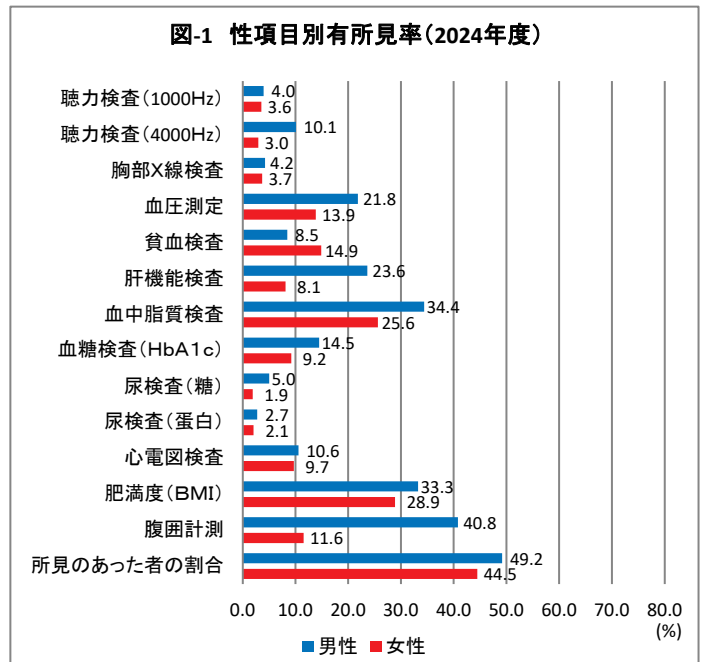
腹囲計測 40.8%、血中脂質検査 34.4%、肥満度（BMI）33.3%、肝機能検査 23.6%、血圧測定 21.8%、血糖検査 14.5%、心電図 10.6%、聴力検査（4000Hz）10.1%の順であった。

女性で有所見率が高かったのは、

肥満度（BMI）28.9%、血中脂質検査 25.6%、貧血検査 14.9%、血圧測定 13.9%、腹囲計測 11.6%、心電図検査 9.7%、血糖検査 9.2%、肝機能検査 8.1%の順であった。

性別で比較すると、

貧血検査以外のすべての項目で男性の方が女性よりも有所見率が高かった。



3. 性・年齢・項目別の有所見率（表-3）

年齢別の有所見率を男女別に比較すると、多くの年齢層において男性の有所見率が女性より高い

各検査の有所見率において、いずれの年代とも男性が女性を上回っている項目は、聴力検査（4000Hz）、血圧測定、肝機能検査、血糖検査（及び又はヘモグロビン A1c）、尿検査（糖）、肥満度（BMI）、腹囲測定であった。

男性、女性とも年齢が高くなるほど有所見率が高くなっている項目は、

胸部X線検査、血圧測定、血糖検査（及び又はヘモグロビン A1c）、尿検査（糖）であった。

表-3 性年齢別項目別有所見率（2024 年度）

項 目	性別	年齢	-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-	合計
聴力検査(1000Hz)	男性		1.1	1.0	1.0	1.0	1.3	1.9	2.4	3.3	4.8	8.2	20.0	4.0
	女性		1.5	1.1	1.0	1.2	1.3	1.8	2.3	3.1	4.5	7.7	18.4	3.6
聴力検査(4000Hz)	男性		0.8	1.0	1.0	1.4	2.2	3.9	6.5	10.2	15.2	23.8	46.6	10.1
	女性		0.7	0.6	0.7	0.9	0.9	1.4	1.7	2.5	3.9	6.4	17.4	3.0
胸部X線検査	男性		0.5	1.0	1.2	1.6	2.2	3.1	4.0	4.8	6.0	7.7	13.1	4.2
	女性		0.4	0.9	1.3	1.5	1.9	2.3	3.1	3.9	5.4	7.0	15.0	3.7
血圧測定	男性		5.6	5.8	6.8	9.7	13.5	18.7	25.1	30.3	33.9	36.2	38.4	21.8
	女性		1.0	2.2	3.2	4.6	7.2	10.3	15.1	19.9	23.8	27.5	36.9	13.9
貧血検査	男性		7.2	5.6	5.2	5.4	6.1	7.0	7.9	8.9	10.1	11.8	18.4	8.5
	女性		13.7	12.3	11.6	14.2	16.7	19.5	20.0	14.7	10.1	10.6	19.0	14.9
肝機能検査	男性		12.9	14.0	18.5	23.9	26.0	26.8	27.6	26.7	24.6	21.9	18.7	23.6
	女性		2.6	3.0	4.3	5.6	6.8	7.0	8.1	11.3	12.5	11.5	10.9	8.1
血中脂質検査	男性		16.9	18.9	24.5	31.4	35.3	38.3	40.2	40.4	38.2	34.7	31.1	34.4
	女性		14.3	13.9	14.8	17.4	19.2	20.7	24.7	33.5	39.2	38.4	36.0	25.6
血糖検査(及び又はヘモグロビンA1c)	男性		2.1	3.0	3.6	5.3	7.4	10.4	14.6	19.1	23.8	26.5	30.5	14.5
	女性		1.0	2.2	2.5	3.4	4.7	6.0	8.1	11.5	16.3	19.1	24.6	9.2
尿検査(糖)	男性		0.5	0.5	0.8	1.3	2.2	3.1	4.9	6.9	9.0	10.3	14.0	5.0
	女性		0.2	0.4	0.4	0.7	1.0	1.3	1.7	2.5	3.4	4.1	5.8	1.9
尿検査(蛋白)	男性		4.4	2.4	1.9	1.9	2.0	2.2	2.5	2.9	3.4	3.5	5.2	2.7
	女性		4.0	2.8	2.5	2.0	1.9	1.8	1.8	1.6	1.3	1.2	3.7	2.1
心電図検査	男性		5.2	8.1	7.4	7.1	7.6	8.4	9.3	10.7	12.6	15.1	21.4	10.6
	女性		3.8	6.1	6.6	7.0	7.0	7.6	8.7	10.2	11.3	13.0	22.9	9.7
肥満度(BMI)	男性		17.9	24.5	28.2	32.5	34.4	34.7	36.6	37.6	35.8	34.3	31.8	33.3
	女性		15.5	21.3	26.7	28.4	29.7	30.2	31.0	32.1	32.7	31.7	29.5	28.9
腹囲計測	男性		15.2	17.3	25.7	36.2	40.8	42.5	45.1	46.5	47.0	47.5	48.8	40.8
	女性		3.8	3.0	4.5	7.8	10.4	11.1	12.6	14.7	16.4	16.2	17.5	11.6
所見のあった者の割合	男性		25.2	31.5	36.3	41.7	47.4	50.7	55.2	57.1	55.6	56.5	61.6	49.2
	女性		20.5	27.0	32.4	35.2	40.3	45.2	49.8	54.7	56.6	59.0	65.6	44.5

血中脂質検査（図-2）

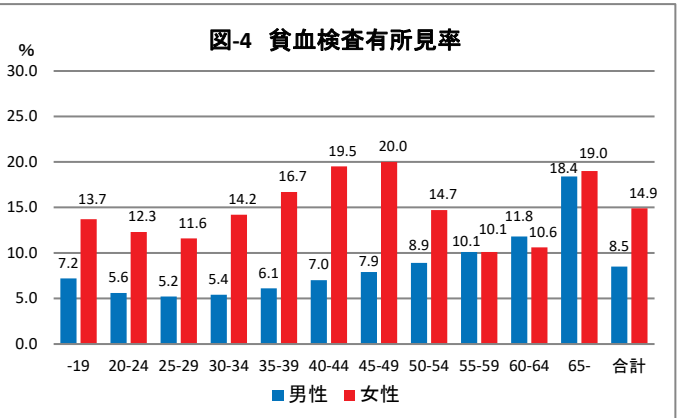
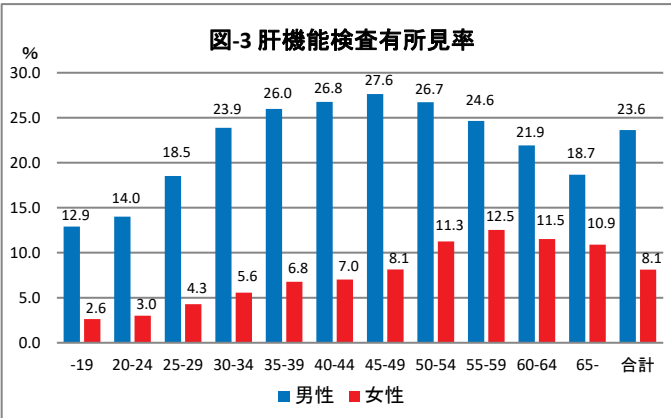
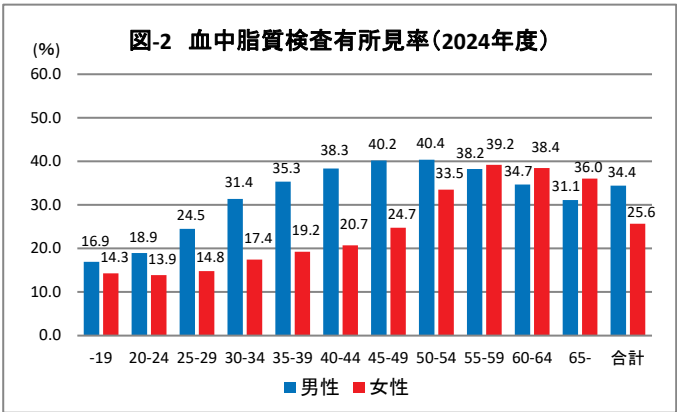
男性…54 歳までは増加傾向、55 歳以降は減少傾向。
女性…19 歳以下を除き 59 歳までは年齢が高くなるほど有所見率が高く、50 歳以上の有所見率は特に高い。

肝機能検査（図-3）

男性…49 歳までは増加傾向、50 歳以降は徐々に減少傾向。
女性…59 歳まで年齢が高くなるほど有所見率は、高い。

貧血検査（図-4）

男性…24 歳以下を除き年齢が高くなるほど有所見率は高い。
女性…24 歳以下を除き 49 歳までは年齢が高くなるほど有所見率は高い。



4. 企業規模別コメント企業規模別の有所見率（表-4）

50 人未満と 50 人以上の有所見率を比較すると、男性は、50 人未満 62.4%、50 人以上 59.0%、女性は、50 人未満 61.5%、50 人以上 57.5%と男女ともに 50 人未満が高かった。加齢によって有所見率は、男性は 50 人未満、50 人以上ともに 35-39 歳をピークに、女性は 50 人未満、50 人以上とともに 40-44 歳をピークに加齢とともに有所見率が増加し、それ以降は減少する傾向が見られた。

表-4 企業規模別年齢別有所見率（2024 年度）

(%)

性別	規模	年齢											合計
		-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-	
男性	50人未満	65.6	65.4	68.9	72.7	76.0	75.0	70.7	64.6	57.0	48.7	38.2	62.4
	50人以上	46.8	55.6	63.4	67.7	68.4	68.3	64.9	58.8	52.4	45.3	36.8	59.0
女性	50人未満	62.8	60.8	63.2	67.3	67.3	68.8	68.5	65.5	58.4	52.5	42.0	61.5
	50人以上	32.0	46.6	64.9	67.2	67.4	67.7	65.6	61.5	56.8	51.0	44.9	57.5

5. 業種別コメント業種別の有所見率（表-5）

有所見率が、最も高い業種は、男性が情報通信業（68.9%）で、次いで金融業・保険業（67.5%）、不動産業、物品賃貸業（67.3%）の順となっており、女性の有所見率が最も高い業種は、不動産業、物品賃貸業（72.7%）、次いで金融業・保険業（69.5%）、情報通信業（68.6%）であった。有所見率が、最も低い業種は、男性が公務（23.4%）、女性が教育、学習支援業（37.5%）だった。

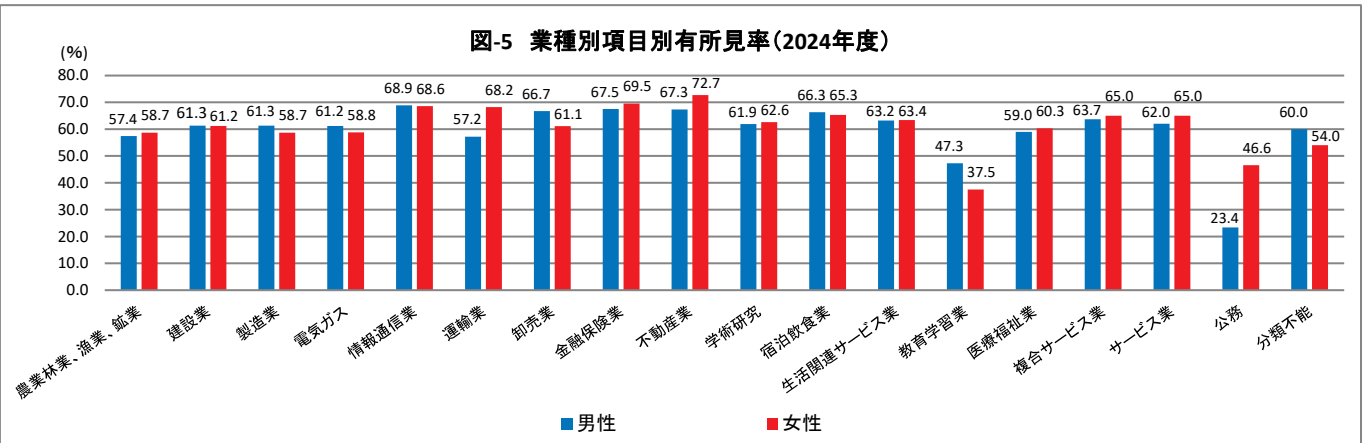


表-5 業種別性年齢別有所見率（2024 年度）

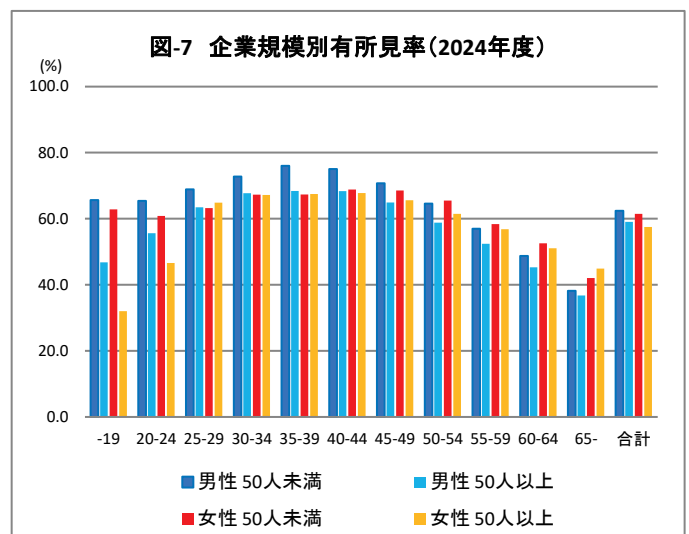
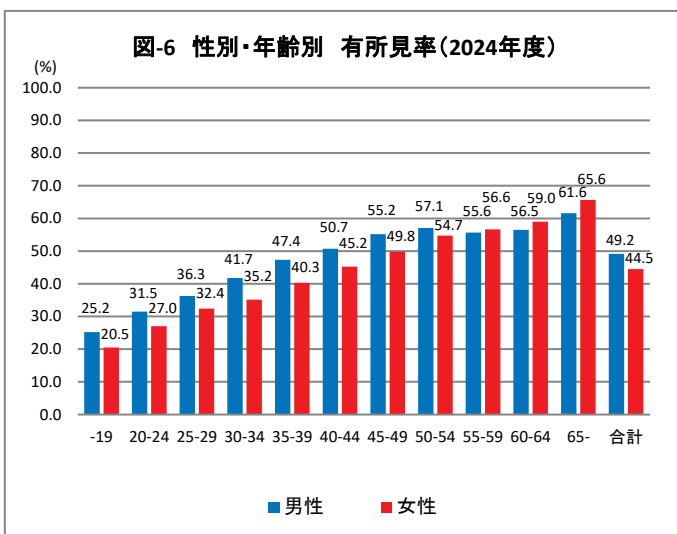
（％）

性別	業種 \ 年齢	-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-	合計
男性	農業・林業、漁業、鉱業・採石業・砂利採取業	71.9	58.5	67.9	67.8	65.5	68.8	59.8	56.4	48.3	47.2	40.7	57.4
	建設業	66.7	63.9	70.1	75.3	77.2	75.9	71.2	64.4	54.9	44.7	34.2	61.3
	製造業	59.3	60.6	63.8	68.9	69.4	70.1	65.8	60.0	53.7	46.0	38.9	61.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	50.0	64.2	68.0	75.9	77.0	71.9	68.1	57.3	48.5	41.2	40.1	61.2
	情報通信業	47.4	61.1	66.2	69.1	74.1	80.2	79.3	74.0	66.7	65.3	55.6	68.9
	運輸業・郵便業	62.4	60.8	67.3	69.7	71.0	71.4	66.1	59.9	51.2	45.3	35.4	57.2
	卸売業・小売業	70.7	63.4	68.7	73.7	77.0	75.0	73.5	67.1	62.6	54.1	42.7	66.7
	金融業・保険業	80.0	69.5	57.9	65.7	73.5	75.5	77.5	75.6	70.1	61.9	40.8	67.5
	不動産業・物品賃貸業	100.0	73.5	73.1	78.6	76.9	81.3	74.3	67.8	66.4	55.2	35.1	67.3
	学術研究・専門技術サービス業	76.9	62.4	63.1	67.0	68.1	62.9	70.0	62.4	55.6	51.0	43.8	61.9
	宿泊業・飲食サービス業	66.7	64.0	71.0	74.0	77.5	79.3	75.8	62.8	61.8	54.4	43.0	66.3
	生活関連サービス業・娯楽業	61.5	64.7	61.8	68.3	76.3	73.6	71.2	63.3	57.6	48.1	37.9	63.2
	教育・学習支援業	38.3	42.2	59.3	61.8	64.7	62.1	60.2	58.7	52.7	44.6	34.6	47.3
	医療・福祉	70.6	72.5	73.6	73.6	72.9	74.8	68.2	59.5	53.9	45.6	36.9	59.0
	複合サービス事業	81.8	71.7	71.7	74.3	76.3	76.3	73.6	68.5	53.2	47.1	33.2	63.7
	サービス業(他に分類されないもの)	70.2	69.9	69.4	72.9	76.0	68.3	69.5	63.9	55.0	47.1	40.0	62.0
	公務(他に分類されるものを除く)	8.2	18.1	26.2	18.8	23.0	20.7	19.9	25.5	32.0	36.2	33.9	23.4
	分類不能の産業	75.0	68.3	75.6	69.4	75.5	73.4	70.6	62.6	54.9	45.3	38.4	60.0
女性	農業・林業、漁業、鉱業・採石業・砂利採取業	60.0	65.2	70.9	69.2	65.6	67.8	63.6	61.0	52.6	45.9	34.8	58.7
	建設業	71.4	59.9	67.5	70.8	70.1	70.7	71.0	66.3	60.0	55.3	35.4	61.2
	製造業	56.0	58.1	61.3	64.0	61.2	66.3	64.5	60.1	51.9	48.1	40.7	58.7
	電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	70.0	60.5	64.9	62.5	70.6	72.1	59.1	56.4	38.5	33.3	58.8
	情報通信業	75.0	64.9	64.8	69.8	77.9	78.4	70.4	78.6	69.7	72.4	47.1	68.6
	運輸業・郵便業	73.9	69.9	71.3	72.2	73.0	71.3	69.0	63.2	56.4	52.4	42.4	68.2
	卸売業・小売業	68.0	64.6	65.3	69.1	72.4	70.0	66.4	63.7	57.7	50.6	43.5	61.1
	金融業・保険業	62.2	65.8	65.3	67.8	73.9	83.0	73.2	73.6	68.1	69.0	45.1	69.5
	不動産業・物品賃貸業	0.0	78.0	66.7	73.2	68.2	86.7	85.3	79.4	71.4	63.1	59.5	72.7
	学術研究・専門技術サービス業	66.7	55.4	58.9	69.3	68.0	65.8	73.2	67.8	57.6	57.9	41.6	62.6
	宿泊業・飲食サービス業	53.5	65.0	63.1	69.2	70.6	75.5	71.1	69.8	69.6	56.4	49.0	65.3
	生活関連サービス業・娯楽業	66.7	64.4	60.3	63.7	67.7	67.6	74.1	72.0	59.6	58.1	43.4	63.4
	教育・学習支援業	28.2	31.3	55.2	58.2	61.4	61.1	58.8	58.3	55.6	55.2	48.7	37.5
	医療・福祉	66.7	65.7	69.5	69.3	71.2	69.3	67.7	60.8	58.3	50.2	46.7	60.3
	複合サービス事業	60.0	66.7	66.7	71.0	77.3	72.6	76.0	68.9	65.6	56.4	31.9	65.0
	サービス業(他に分類されないもの)	55.6	61.9	68.5	70.2	74.1	70.3	68.3	65.0	63.9	56.8	46.9	65.0
	公務(他に分類されるものを除く)	12.9	30.9	35.5	44.4	51.7	67.9	53.3	48.8	50.5	47.7	43.5	46.6
	分類不能の産業	60.0	53.2	60.9	56.5	59.7	55.4	59.4	59.9	57.3	48.5	44.1	54.0

Ⅳ まとめ

性・年齢別有所見率調査の結果は、昨年の有所見率調査結果に比べると項目によって変動はあるが、大きな相違はなく、所見のあった者の割合は男性が女性より高く、男女とも年齢が高くなるほど高くなっている。項目別有所見率は、男女とも血中脂質検査ならびに肥満度（BMI）が高く、性別で見ると貧血検査以外は男性が女性より高くなっている。2024 年度のわが国の有所見率は 59.4％で、前年度(2023 年度)の有所見率 58.9％から 0.5 ポイント上回った。

2023 年度を初年度とする 5 か年計画である第 14 次労働災害防止計画や安衛法の改正等、健康管理については健康診断の実施と事後措置等の徹底が求められている。



東京都産業保健健康診断機関連絡協議会